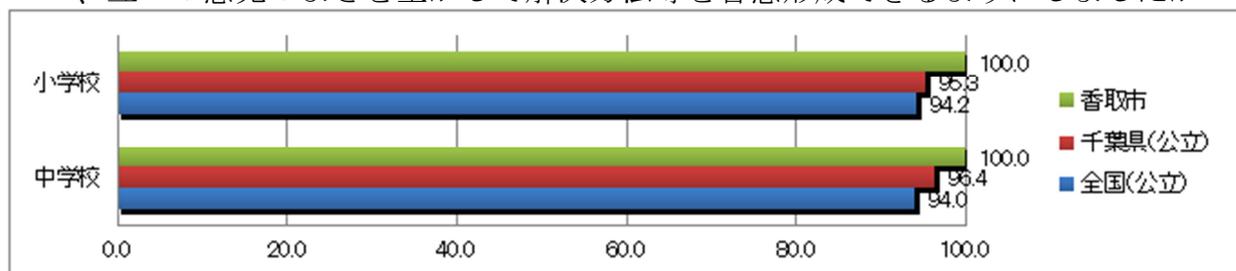


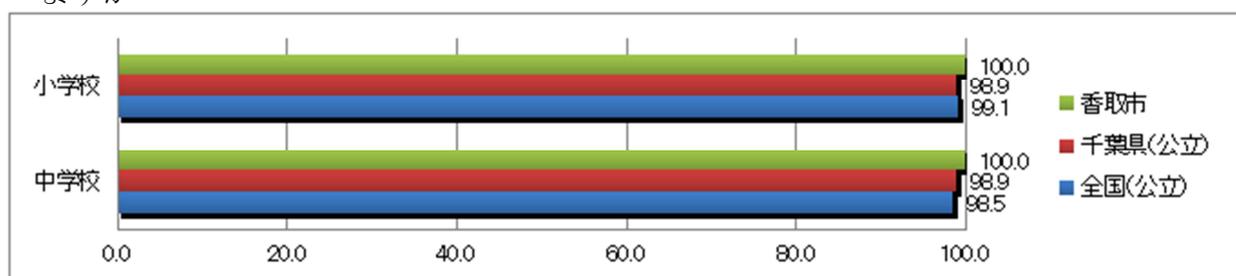
学校質問紙調査の結果から

※学校質問紙から一部を抜粋 ※数値は肯定的な回答をした学校の割合（％）

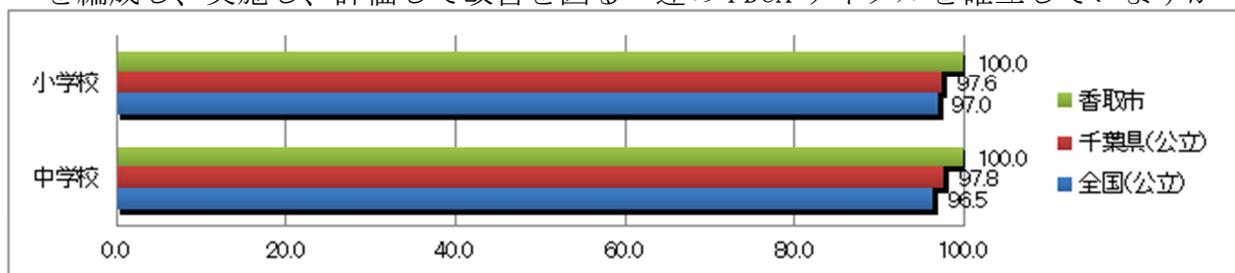
- 調査学年の児童生徒に対して、学級生活をよりよくするために、学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法等を合意形成できるようにしましたか



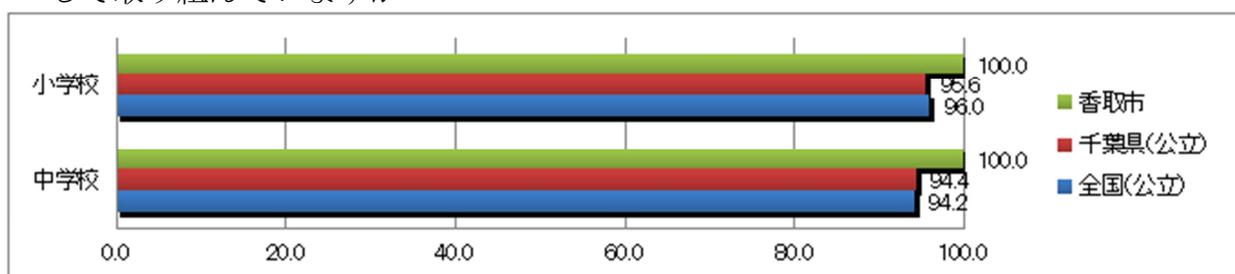
- ICTを活用した校務の効率化（仕事の軽減）の優良事例を十分に取り入れていますか



- 児童生徒の姿や地域の現状等に関する調査、各種データなどに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか



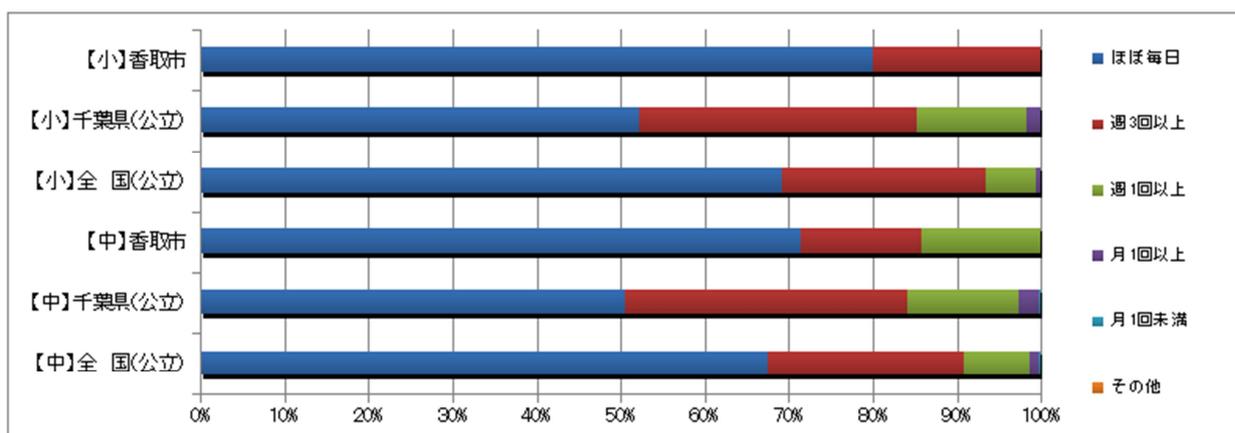
- 言語活動について、国語科を要にしつつ、各教科等の特質に応じて、学校全体として取り組んでいますか



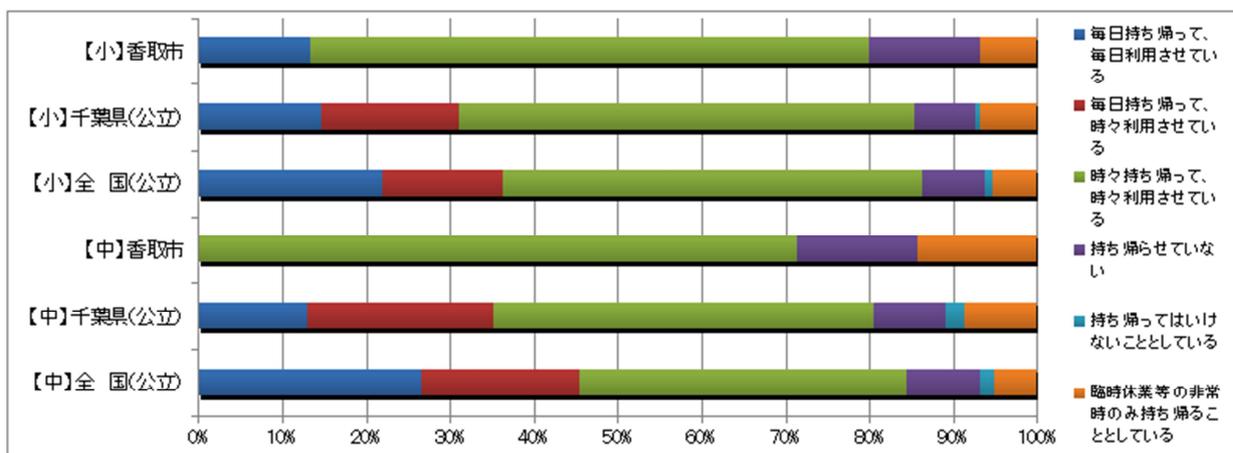
問いに対して全ての学校が肯定的に回答しており、児童生徒一人一人の良さを生かしながら合意形成を図る学級づくりや、各種データに基づいた教育課程の編成と、その改善を図る一連のPDCAサイクルを機能させている学校づくりが進められていることが分かります。

また、ICTを活用した校務の優良事例を取り入れ、業務の効率化に邁進している様子が分かります。良好な結果といえます。

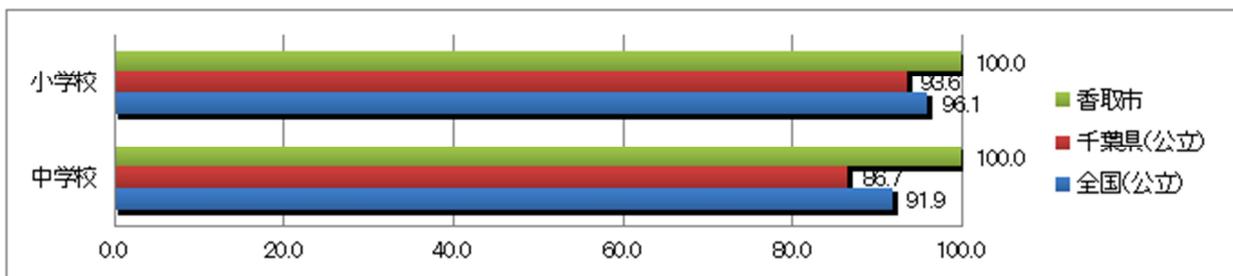
- 調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、一人一人に配備された PC・タブレットなどの ICT 機器を、授業でどの程度活用しましたか



- 児童生徒一人一人に配備された PC・タブレットなどの端末を、どの程度家庭で利用できるようにしていますか



- 調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、学校では、家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えましたか



授業での ICT 活用では、全国や県と比較して「ほぼ毎日」と答えた学校の割合が高いことが分かりました。ICT 機器の使用頻度の改善がみられます。

児童生徒に配備されたタブレット端末の家庭への持ち帰りに関しては、「毎日持ち帰って毎日利用している」と答えた学校の割合は低く、「時々持ち帰って時々利用している」と答えた割合が高いことが分かりました。

家庭学習の方法については、小・中学校共に具体例を挙げながらの指導が進んでいるようすが分かります。全国や県と比較して高い結果となりました。家庭学習の充実と習慣化のため、具体的かつ丁寧な指導を継続していく必要性があげられます。